

(別表)

長野地方気象台が発表する道路交通と鉄道交通の安全に関する
特別警報・警報・注意報と情報の種類及び発表基準

特別警報・危険警報・警報・注意報の名称と概要（警戒レベル相当情報）

警報等の名称等		概 要
レベル5 特別警報 (警戒 レベル5 に相当)	レベル5 大雨特別警報	大雨による重大な浸水害等※1 が切迫または既に発生しているおそれが大きく、身の安全の確保が必要な場合に発表。
	レベル5 土砂災害特別警報 ※4	大雨による重大な土砂災害が切迫または既に発生しているおそれ大きく、身の安全の確保が必要な場合に発表。
	レベル5 氾濫特別警報※3	河川※2 氾濫による重大な災害が切迫または既に発生しているおそれ大きく、身の安全の確保が必要な場合に発表。
レベル4 危険警報 (警戒レ ベル4に 相当)	レベル4 大雨危険警報	大雨による重大な浸水害等※1 が起こるおそれ大きい危険な状況の場合に発表。
	レベル4 土砂災害危険警報 ※4	大雨による重大な土砂災害が起こるおそれ大きい危険な状況の場合に発表。
	レベル4 氾濫危険警報※3	河川※2 氾濫による重大な災害が起こるおそれ大きい危険な状況の場合に発表。
レベル3 警報 (警戒レ ベル3に 相当)	レベル3 大雨警報	大雨による重大な浸水害等※1 が起こるおそれがある場合に発表。
	レベル3 土砂災害警報※4	大雨による重大な土砂災害が起こるおそれがある場合に発表。
	レベル3 氾濫警報※3	河川※2 氾濫による重大な災害が起こるおそれがある場合に発表。
レベル2 注意報 (警戒レ ベル2)	レベル2 大雨注意報	大雨による浸水害等※1 が起こるおそれのある場合に発表。
	レベル2 土砂災害注意報※4	大雨による土砂災害が起こるおそれのある場合に発表。
	レベル2 氾濫注意報※3	河川※2 氾濫による災害が起こるおそれのある場合に発表。

※1 大雨の注意報・警報等は、内水氾濫による浸水害及び大雨や融雪による洪水予報河川以外の河川の外水氾濫を対象に発表。

※2 洪水予報河川

※3 洪水予報河川に発表する洪水注意報はレベル2 氾濫注意報の名称を、洪水警報（洪水危険警報を除く。）はレベル3 氾濫警報の名称を、洪水危険警報はレベル4 氾濫危険警報の名称を、洪水特別警報はレベル5 氾濫特別警報の名称を、それぞれ用いて行う。

※4 土砂崩れ注意報はレベル2 土砂災害注意報の名称を、土砂崩れ警報（土砂崩れ危険警報を除く。）はレベル3 土砂災害警報の名称を、土砂崩れ危険警報はレベル4 土砂災害危険警報の名称を、土砂崩れ特別警報はレベル5 土砂災害特別警報の名称を、それぞれ用いて行う。

特別警報・警報・注意報の名称と概要（警戒レベル相当情報以外）

警報等の名称等		概 要
特 別 警 報	大雪特別警報	大雪が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれ著しく大きいと予想されたときに発表。
	暴風特別警報	暴風が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれ著しく大きいと予想されたときに発表。
	暴風雪特別警報	雪を伴う暴風が特に異常であるため重大な災害が発生するおそれが著しく大きいと予想されたときに発表。「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害等による重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかけ。
警 報	大雪警報	大雪により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。
	暴風警報	暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。
	暴風雪警報	雪を伴う暴風により重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。「暴風による重大な災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害等による重大な災害」のおそれについても警戒を呼びかけ。
注 意 報	大雪注意報	大雪により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。
	強風注意報	強風により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。
	風雪注意報	雪を伴う強風により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。「強風による災害」に加えて「雪を伴うことによる視程障害等による災害」のおそれについても注意を呼びかけ。
	濃霧注意報	濃い霧により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。
	雷注意報	落雷により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。また、発達した雷雲の下で発生することの多い竜巻等の突風や「ひょう」による災害への注意喚起が付加される場合あり。急な強い雨への注意も雷注意報で呼びかけ。
	乾燥注意報	空気の乾燥により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。具体的には、火災の危険が大きい気象条件が予想されたときに発表。
	なだれ注意報	「なだれ」により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。
	着氷注意報	著しい着氷により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。具体的には、通信線や送電線、船体等への被害が発生するおそれがあるときに発表。
	着雪注意報	著しい着雪により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。具体的には、通信線や送電線、船体等への被害が発生するおそれがあるときに発表。
	融雪注意報	融雪により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。具体的には、浸水害、土砂災害等が発生するおそれが

		あるときに発表。
	霜注意報	霜により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。具体的には、早霜や晩霜により農作物への被害が発生するおそれがあるときに発表。
	低温注意報	低温により災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表。具体的には、低温による農作物等への著しい被害や、冬季の水道管凍結や破裂による著しい被害が発生するおそれがあるときに発表。

警報・注意報の基準については、必要に応じて変更しているため、気象庁ホームページにて最新の値を確認願います。

○特別警報の指標及び危険警報・警報・注意報発表基準一覧表（長野県）

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/ki_jun/nagano.html

その他の気象情報の名称と概要

名 称	概 要
早期注意情報（警報級の可能性）	5日先までの警報級の現象の可能性が[高]、[中]の2段階で発表される。当日から明後日にかけては時間帯を区切って、天気予報の対象地域と同じ発表単位（長野県北部・中部・南部）で、3日先から5日先にかけては日単位で、週間天気予報の対象地域と同じ発表単位で発表される。大雨、土砂災害に関して、[高]又は[中]が予想されている場合は、災害への心構えを高める必要があることを示す警戒レベル1である。
時系列情報（明日までの警報等の見通し）	特別警報・危険警報・警報・注意報に先立って、市町村単位で、警報級の現象の発生が想定される時間帯（土砂災害の警報・危険警報については情報の発表が想定される時間帯）の見通しを「災害切迫」（黒）、「危険」（紫）、「警戒」（赤）、「注意」（黄）の色で表示する。翌日までの3時間ごとの気象状況の見通しが1日4回発表される。 なお、警報等の見通しが大きく変わった場合には、必要に応じて定時の発表を待たず臨時で発表される。
気象防災速報（記録的短時間大雨）	レベル3大雨警報等を発表中かつ大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、当該地域にとって数年に一度程度しか発生しないような猛烈な雨（1時間降水量）が観測（地上の雨量計による観測）又は解析（気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせて分析）された場合に、気象庁から「長野県気象防災速報（記録的短時間大雨）」という表題の情報が発表される。
気象防災速報（線状降水帯発生）	大雨による災害発生の危険度が急激に高まっている中で、線状降水帯により非常に激しい雨が同じ場所で降り続けているときには、「線状降水帯」というキーワードを使って解説する「長野県気象防災速報（線状降水帯発生）」という表題の情報が気象庁から発表される。

<p>気象防災速報（線状降水帯直前予測）</p>	<p>線状降水帯発生の可能性が高まった場合には、線状降水帯発生のおお2～3時間前を目標に、予測情報として「長野県気象防災速報（線状降水帯直前予測）」という表題の情報が気象庁から発表される。</p>
<p>気象防災速報（竜巻注意／竜巻目撃）</p>	<p>積乱雲の下で発生する竜巻、ダウンバースト等による激しい突風に対して注意が呼びかけられる情報で、竜巻等の激しい突風の発生しやすい気象状況になっているときに、天気予報の対象地域と同じ発表単位（長野県北部・中部・南部）で気象防災速報（竜巻注意）として気象庁から発表される。なお、実際に危険度が高まっている場所は竜巻ナウキャストで確認することができる。</p> <p>また、竜巻の目撃情報が得られた場合には、目撃情報があつた地域を示し、その周辺で更なる竜巻等の激しい突風が発生するおそれが非常に高まっている旨を付加した情報が天気予報の対象地域と同じ発表単位で気象防災速報（竜巻目撃）として発表される。</p> <p>これらの情報の有効期間は、発表から概ね1時間である。</p>
<p>全般気象解説情報、関東甲信地方気象解説情報、長野県気象解説情報</p>	<p>気象の予報等について、警報等に先立って注意・警戒を呼びかけられる場合や、警報等が発表された後の経過や予想、防災上の留意点が解説される場合等に発表される。表題は、「気象解説情報（大雨・落雷・突風）」のように、（ ）内に注目される現象のキーワードが付記される。</p> <p>気象解説情報のうち、線状降水帯による大雨の可能性のある程度高いことが予想された場合に、大雨に対する心構えを一段高めていただくことを目的として、半日程度前から「気象解説情報（線状降水帯半日前予測）」という表題で発表される。台風に関する情報については「気象解説情報（台風第〇号）」という表題で発表される。</p> <p>また、大雨や土砂災害の警戒を呼びかける中で、重大な災害が差し迫っている場合に一層の警戒を呼びかけるなど、気象台が持つ危機感を端的に伝えるため、本文を記述せず、見出し文のみの全般・地方・府県気象解説情報が発表される場合がある。</p>

キキクル等の種類と概要

種 類	概 要
<p>土砂キキクル</p>	<p>大雨による土砂災害発生のお危険度の高まりの予測を、地図上で1 km 四方の領域ごとに5段階に色分けして示す情報。最大6時間先までの雨量分布及び土壌雨量指数の組み合わせの予測を用いて常時10分ごとに更新しており、土砂災害の警報等が発表されたときに、危険度が高まっている場所を面的に確認することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害切迫」（黒）：命のお危険があり直ちに身の安全を確保する必要があるとされる警戒レベル5に相当。 ・「危険」（紫）：危険な場所から避難する必要があるとされる警戒レベル4に相当。

	<ul style="list-style-type: none"> ・「警戒」(赤)：高齢者等が危険な場所から避難する必要があるとされる警戒レベル3に相当。 ・「注意」(黄)：ハザードマップによる災害リスクの再確認等、避難に備え自らの避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当。
浸水キキクル	<p>短時間強雨による浸水害発生の危険度の高まりの予測を、地図上で1 km 四方の領域ごとに5段階に色分けして示す情報。1時間先までの表面雨量指数の予測を用いて常時10分ごとに更新しており、大雨の警報等が発表されたときに、危険度が高まっている場所を面的に確認することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害切迫」(黒)：命の危険があり直ちに身の安全を確保する必要があるとされる警戒レベル5に相当。 ・「危険」(紫)：危険な場所から避難する必要があるとされる警戒レベル4に相当。 ・「警戒」(赤)：高齢者等が危険な場所から避難する必要があるとされる警戒レベル3に相当。 ・「注意」(黄)：ハザードマップによる災害リスクの再確認等、避難に備え自らの避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当。
洪水キキクル	<p>指定河川洪水予報の発表対象ではない中小河川（水位周知河川及びその他河川）の洪水災害発生の危険度の高まりの予測を、地図上で河川流路を概ね1 km ごとに5段階に色分けして示す情報。3時間先までの流域雨量指数の予測を用いて常時10分ごとに更新しており、大雨の警報等が発表されたときに、危険度が高まっている場所を面的に確認することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「災害切迫」(黒)：命の危険があり直ちに身の安全を確保する必要があるとされる警戒レベル5に相当。 ・「危険」(紫)：危険な場所から避難する必要があるとされる警戒レベル4に相当。 ・「警戒」(赤)：高齢者等が危険な場所から避難する必要があるとされる警戒レベル3に相当。 ・「注意」(黄)：ハザードマップによる災害リスクの再確認等、避難に備え自らの避難行動の確認が必要とされる警戒レベル2に相当。
流域雨量指数の予測値	<p>各河川の、上流域での降雨による、下流の対象地点の洪水危険度（大河川においては、その支川や下水道の氾濫などの「湛水型内水氾濫」の危険度）の高まりの予測を、警報等の基準への到達状況に応じて危険度を色分けした時系列で示す情報。流域内における雨量分布の実況と6時間先までの予測（解析雨量及び降水短時間予報等）を用いて常時10分ごとに更新している。</p>
大雨キキクル	<p>浸水キキクルと洪水キキクルのメッシュを重ね合わせ、危険度の高い色を優先的に表示したもの。</p>

地震・火山に関する情報の名称と概要

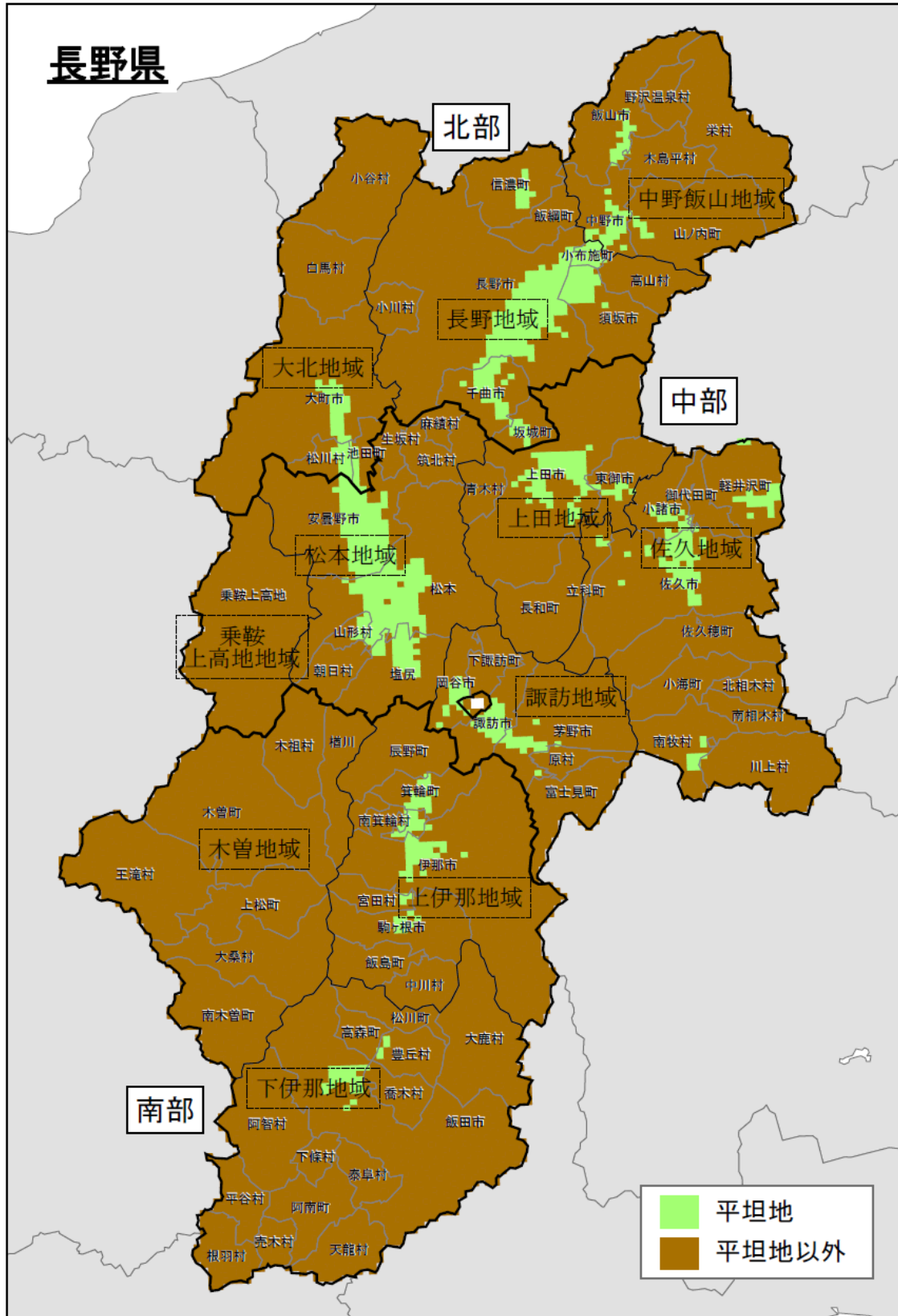
名 称	概 要
緊急地震速報	震度5弱以上の揺れが予想された場合または長周期地震動階級3以上を予想した場合に、震度4以上が予想される地域と長周期地震動階級3以上を予想した地域に対して、緊急地震速報（警報）を発表する。日本放送協会（NHK）は、テレビ、ラジオを通じて住民に提供する。なお、震度6弱以上の揺れを予想した緊急地震速報（警報）は、地震動特別警報に位置づけられる。
地震情報 （震度速報）	地震発生約1分半後に、震度3以上を観測した地域名（全国を188地域に区分）と地震の揺れの発現時刻を速報する。
地震情報 （震源に関する情報）	震度3以上を観測した地震に対して、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表する。
地震情報 （震源・震度に関する情報）	震度3以上、又は緊急地震速報（警報）を発表した場合に対して、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）、震度3以上の地域名と市町村名を発表する。 震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その市町村名を発表する。
地震情報 （各地の震度に関する情報）	震度1以上を観測した地点のほか、地震の発生場所（震源）やその規模（マグニチュード）を発表する。震度5弱以上と考えられる地域で、震度を入手していない地点がある場合は、その地点名を発表する。
南海トラフ地震 臨時情報	南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合に発表する。 観測された異常な現象の調査結果を発表する。
南海トラフ地震 関連解説情報	観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する。「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合において評価した調査結果を発表する。
噴火警報 （居住地域・火口周辺）	噴火に関する重大な災害の起るおそれのある旨を警告して行う予報のこと。生命に危険を及ぼす火山現象（大きな噴石、火砕流、融雪型火山泥流等、発生から短時間で火口周辺や居住地域に到達し、避難までの時間的猶予がほとんどない現象）の発生が予想される場合やその危険が及ぶ範囲の拡大が予想される場合に火山名、警戒が必要な範囲（生命に危険を及ぼす範囲）等を明示して発表する。噴火警戒レベルを運用している火山では、噴火警戒レベルを付して発表する。 噴火警報のうち、警戒が必要な範囲が火口周辺に限られる場合には、「噴火警報（火口周辺）」を発表する。噴火警戒レベルを運用している火山では、レベル2とレベル3が該当する。また、噴火警報のうち、警戒が必要な範囲が居住地域まで及ぶ場合には噴火警報（居住地域）を発表する。噴火警戒レベルを運用している火山では、レベル4とレベル5が該当し、特別警報に位置づけている。（第2表）
噴火予報	観測の成果に基づく噴火に関する火山現象の予想の発表のこと。火山活動の状況が静穏である場合、あるいは火山活動の状況が噴火警報には及ばない程度と予想される場合に発表す

	る。噴火警戒レベルを運用している火山では、噴火警戒レベル1（活火山であることに留意）を付して発表する。（第2表）
噴火速報	登山者や周辺の住民に対して、噴火の発生を知らせる情報のこと。火山が噴火したことを端的にいち早く伝え、身を守る行動を取っていただくために発表する。
噴火警戒レベル	火山活動の状況に応じて「警戒が必要な範囲（生命に危険を及ぼす範囲）」と、防災機関や住民等の「とるべき防災対応」を5段階に区分した指標のこと。 噴火警報、噴火予報に付して発表する。各火山の地元都道府県等が設置する火山防災協議会で検討を行い、噴火警戒レベルに応じた「警戒が必要な範囲」と「とるべき防災対応」が市町村・都道府県の地域防災計画に定められた火山で運用を開始する。（第2表）
降灰予報（定時）	噴火警報発表中の火山で、噴火により人々の生活に影響を及ぼす降灰が予想される場合に、定期的（3時間毎）に発表する降灰予報のこと。 18時間先（3時間区切り）までに噴火した場合に予想される、降灰範囲や小さな噴石の落下範囲を提供している。
降灰予報（速報）	火山近傍にいる人が、噴火後すぐに降り始める火山灰や小さな噴石への対応行動をとることができるように発表する降灰予報のこと。 噴火発生から1時間以内に予想される降灰量分布や小さな噴石の落下範囲について噴火後5～10分程度で発表している。
降灰予報（詳細）	火山から離れた地域の住民も含め、降灰量に応じた適切な対応行動をとることができるように発表する降灰予報のこと。 噴火の観測情報（噴火時刻、噴煙高など）を用いて、精度の高い降灰予測計算を行って、噴火発生から6時間先まで（1時間ごと）に予想される降灰量分布や、降灰開始時刻について噴火発生から20～30分程度で発表している。
火山ガス予報	居住地域に長期間影響するような多量の火山ガスの放出がある場合に、火山ガスの濃度が高まる可能性のある地域を対象に発表する情報のこと。

第1表 大雪警報・注意報基準一覧表(平成25年11月11日)

一次細分 区域	市町村等をまと めた地域	二次細分区域	大雪警報発表基準	大雪注意報発表基準
			1 2 時間降雪の深さ	1 2 時間降雪の深さ
北部	大北地域	小谷村、白馬村、大町市、松川 村、池田町	平 地:25cm 山沿い:30cm	平 地:15cm 山沿い:20cm
	長野地域	長野市、須坂市、千曲市、坂城 町、小布施町、高山村、信濃町、 小川村、飯綱町	平 地:25cm 山沿い:30cm	平 地:15cm 山沿い:20cm
	中野飯山地域	中野市、飯山市、山ノ内町、木島 平村、野沢温泉村、栄村	40cm	25cm
中部	松本地域	松本、塩尻、安曇野市、麻績村、 生坂村、山形村 朝日村、筑北村	聖高原周辺:25cm 聖高原周辺を除く地 域:20cm	聖高原周辺:15cm 聖高原周辺を除く地 域:10cm
	乗鞍上高地地域	乗鞍上高地	30cm	20cm
	上田地域	上田市、東御市、青木村、長和町	菅平周辺:25cm 菅平周辺を除く地域: 20cm	菅平周辺:15cm 菅平周辺を除く地域: 10cm
	佐久地域	小諸市、佐久市、小海町、川上 村、南牧村、南相木村 北相木村、佐久穂町、軽井沢町、 御代田町、立科町	20cm	10cm
	諏訪地域	岡谷市、諏訪市、茅野市、下諏訪 町、富士見町、原村	20cm	10cm
南部	木曾地域	樽川、上松町、南木曾町、木祖 村、王滝村、大桑村 木曾町	20cm	10cm
	上伊那地域	伊那市、駒ヶ根市、辰野町、箕輪 町、飯島町、南箕輪村 中川村、宮田村	20cm	10cm
	下伊那地域	飯田市、松川町、高森町、阿智 村、平谷村、根羽村 下條村、売木村、天龍村、泰阜 村、喬木村、豊丘村 大鹿村、阿南町	20cm	10cm

長野県「平坦地、平坦地以外」の地域図



平坦地：概ね傾斜が 30 パーセント以下で都市化率が 25%以上の地域
 平坦地以外：上記以外の地域

第2表 噴火警報・予報の名称、発表基準、噴火警戒レベル等の一覧表

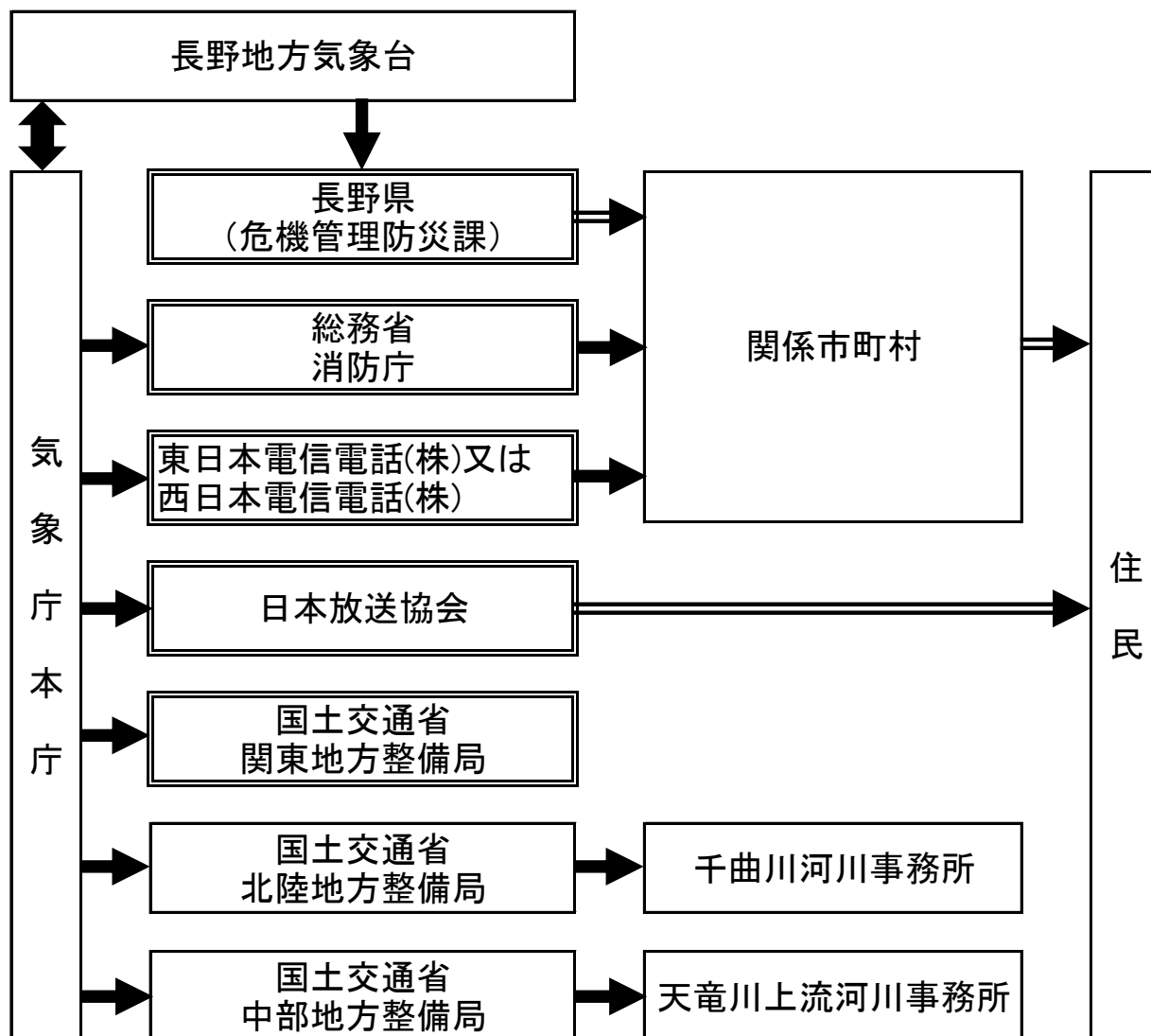
(噴火警戒レベルが運用されている火山:草津白根山・浅間山・新潟焼山・焼岳・乗鞍岳・御嶽山)

種別	名称	対象範囲	レベル (キーワード)	火山活動の状況
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域及び それより火口側	レベル5 (避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生、あるいは切迫している状態にある。
			レベル4 (高齢者等避難)	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想される(可能性が高まってきている)。
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から居住地域 近くまでの広い範囲 の火口周辺	レベル3 (入山規制)	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす (この範囲に入った場合には生命の危険が 及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予 想される。
		火口から少し離れ た所までの火口周辺	レベル2 (火口周辺規制)	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に入 った場合には生命に危険が及ぶ)噴火が発 生、あるいは発生すると予想される。
予報	噴火予報	火口内等	レベル1 (活火山であることに 留意)	火山活動の状態によって、火口内で火山 灰の噴出等が見られる(この範囲に入った 場合には生命に危険が及ぶ)。

(噴火警戒レベルが運用されていない火山の場合)

種別	名称	対象範囲	警戒事項等 (キーワード)	火山活動の状況
特別 警報	噴火警報 (居住地域) 又は 噴火警報	居住地域及び それより火口側	居住地域及び それより火口側の範囲に おける嚴重な警戒 居住地域嚴重警戒	居住地域に重大な被害を及ぼす噴火が発 生、あるいは発生すると予想される。
警報	噴火警報 (火口周辺) 又は 火口周辺警報	火口から居住地域 近くまでの広い範囲 の火口周辺	火口から 居住地域近くまでの 広い範囲の火口周辺 における警戒 入山危険	居住地域の近くまで重大な影響を及ぼす (この範囲に入った場合には生命の危険が 及ぶ)噴火が発生、あるいは発生すると予 想される。
		火口から少し離れ た所までの火口周辺	火山から 少し離れたところまでの火口 周辺における警戒 火山周辺危険	火口周辺に影響を及ぼす(この範囲に 入った場合には生命に危険が及ぶ)噴火 発生あるいは発生すると予想される。
予報	噴火予報	火口内等	活火山であることに 留意	火山活動の状態によって、火口内で火山 灰の噴出等が見られる(この範囲に入った 場合には生命に危険が及ぶ)。

警報等の伝達経路図



注1 二重枠で囲まれている機関は、気象業務法施行令第8条第1号及び第3号並びに第9条の規定に基づく法定伝達先。

注2 二重線の経路は、気象業務法第15条の2によって、特別警報の通知もしくは周知の措置が義務づけられている伝達経路。

注3 火山現象特別警報及び火山現象警報においては、気象庁本庁から警察庁にも伝達を行い、また気象庁本庁から長野地方気象台を通じて長野県にも伝達する。